継続事業評価シート

評価実施日 令和4年3月31日

令和3年度(5年目)

事業コード	50	事業名	新型コロナウイルスに関する経営相談体制強化事業	戦略コード	1	戦略名	育て・挑戦を支える商工会		
担当部署	事業振興部	担当課名	地域戦略課	担当課長名	伊藤健一	施策コード	1	施策名	巡回相談の質的向上による個社支援の強化

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景									
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地域の事業者は先行きが見えない厳しい経営を強いられており、新たな生活様式に対応した経営や事業の再構築が必要となっている。									
2. 事業のねらい									
新型コロナウイルスの影響を受ける事業者に対し、事業継続のための支援を強化する。									
3. これまでの評価結果									
<table border="1"> <tr> <td>過年度</td><td>H29</td><td>-</td><td>H30</td><td>-</td><td>R1</td><td>-</td><td>R2</td><td>-</td> </tr> </table> 今年度より実施	過年度	H29	-	H30	-	R1	-	R2	-
過年度	H29	-	H30	-	R1	-	R2	-	
4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応									
今年度より実施									

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
118	経営相談体制の強化	「新型コロナウイルスに関する経営相談窓口」を設置し、16商工会へ相談員を30人配置し、施策周知や経営相談の強化を行い、13,792件の相談実績があった。	a	a	a	A

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	指標名	年度	H29	H30	R1	R2	R3
		目標					
		実績					
		達成率					
		達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価
【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a   <評価の理由>   事業者は先行きが見えない厳しい経営を強いられ、新しい生活様式に対応した経営や事業の再構築が必要な状況であるため、事業者への相談体制を強化する必要がある。
【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a   <事業の目標は達成されているかどうか>   新型コロナウイルスの影響を受ける事業者への支援を強化するため、相談員の配置による相談体制強化を図り、10,000件を超える相談実績があったことから、事業の有効性は高い。
【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a   <コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由>   事業費は、国の「令和3年度新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小・小規模事業者向け経営相談体制強化事業(新型コロナウイルス感染症対策経営相談窓口業務)」を活用し、金銭的コストを削減した。
2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 A   相談員を配置したことで事業者の事業継続のための支援強化が図られたほか、各種施策の周知や支援申請サポートが円滑に実施できるなど、効果的な事業者支援を実施できた。
3. 課題
新型コロナウイルスの影響を受ける事業者は増え続けており、さらには相談内容が高度化していることから、1件当たりの相談時間が長くなっている。
4. 今後の対応方針(改善点)
事業継続や新たな生活様式に対応するための事業の再構築など、高度な案件への対応強化が必要である。